

2024年3月期（2023年度）

TOSO トーソー株式会社

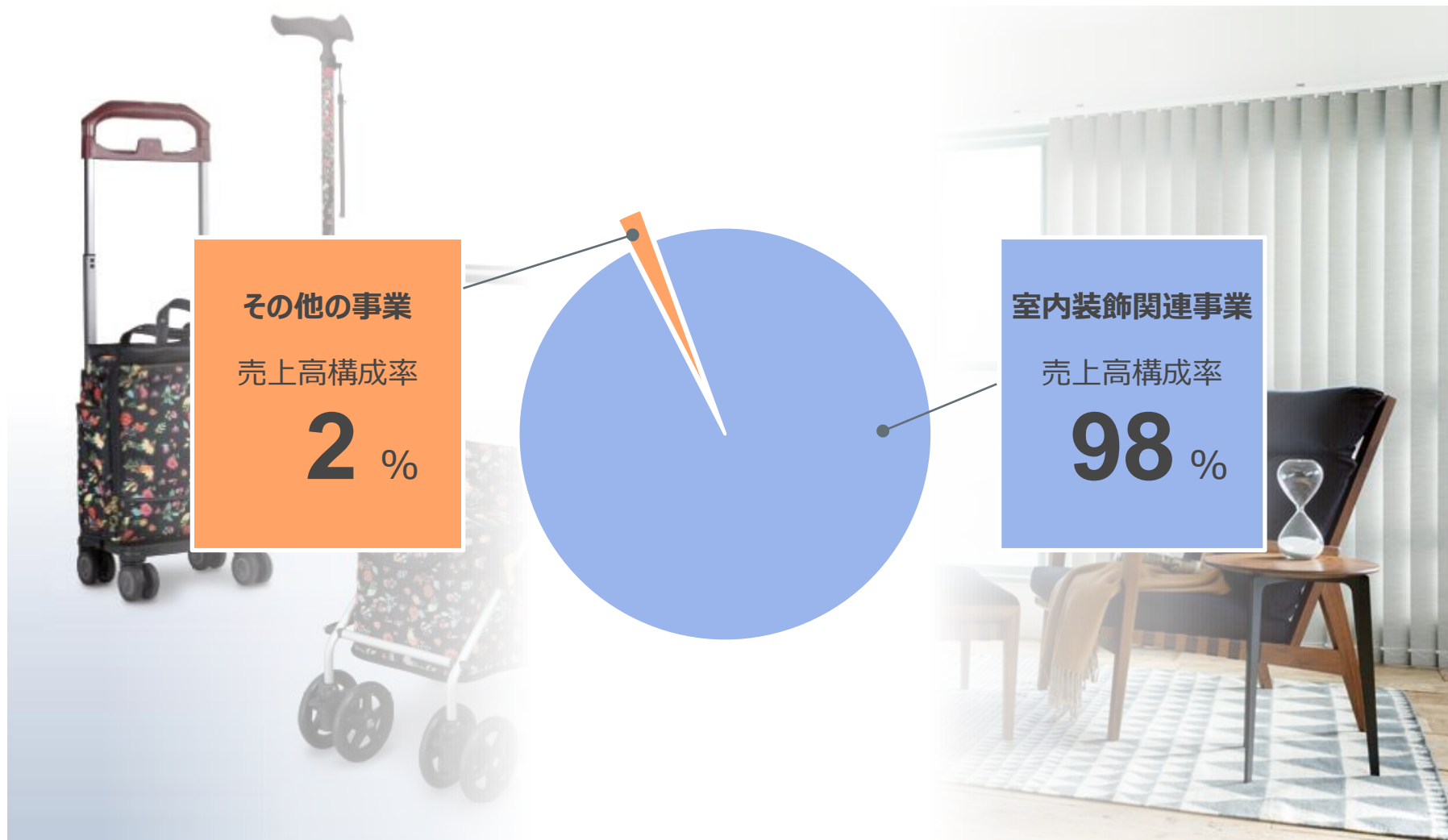
（東証スタンダード市場 証券コード：5956）

第2四半期 決算説明

2023年11月

1. 事業内容と市場規模

トソーグループの事業内容

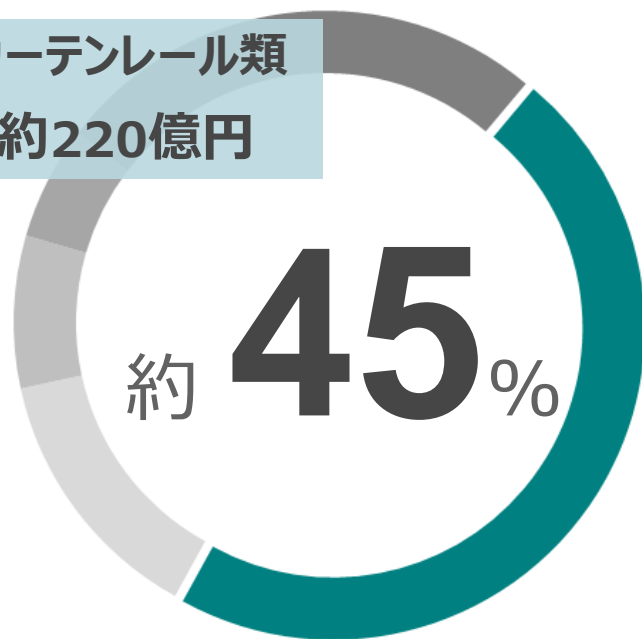


室内装飾関連事業の市場規模とシェア

室内装飾関連事業（カーテンレール類・ブラインド類）

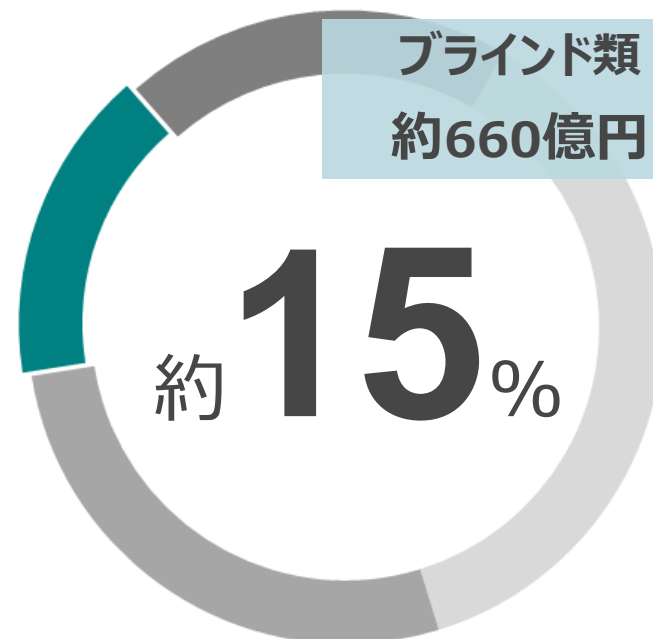
国内市場規模：約**880**億円（2022年度）

カーテンレール類
約220億円



TOSO

ブラインド類
約660億円



安定した収益基盤

シェア拡大の余地あり

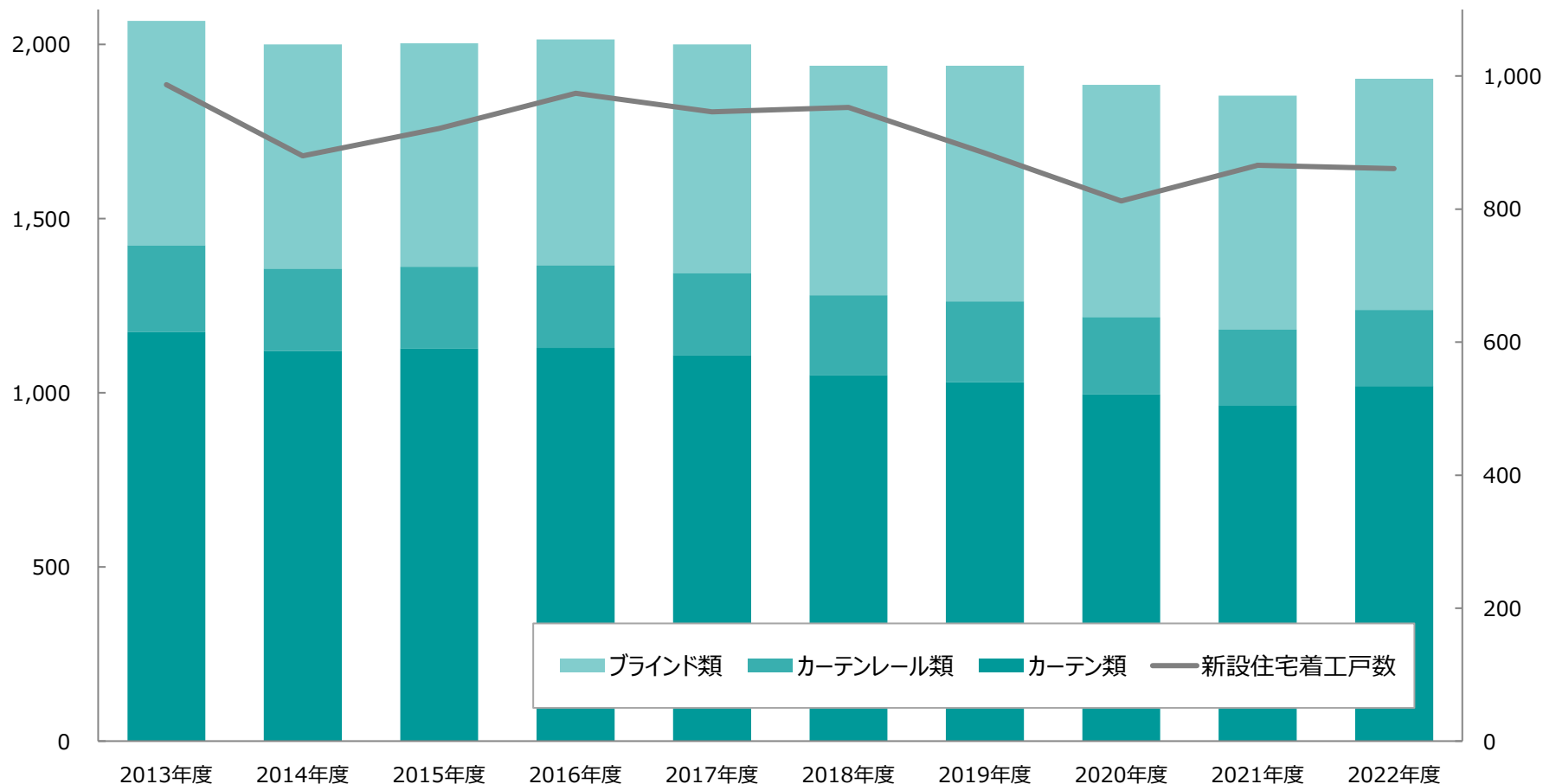
※日本インテリア協会資料（卸売ベース）より当社推定

室内装飾関連事業の市場と建設需要

窓装飾市場は新設住宅着工戸数に影響される

(市場規模：億円)

(戸数：千戸)



※国土交通省「建築着工統計調査」および日本インテリア協会資料（卸売ベース）より当社作成

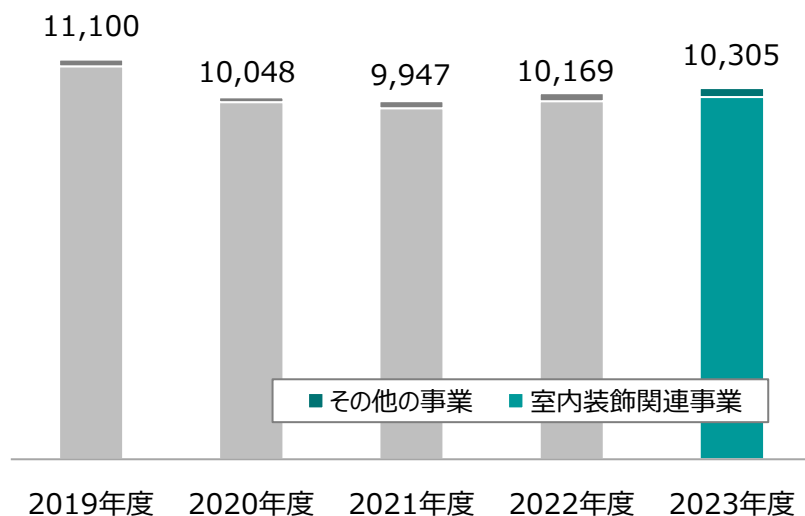
2. 2024年3月期（2023年度）第2四半期業績概況

2023年度第2四半期業績概況

	前年同期比	コメント
売上高	+136 百万円 ↗	非住宅分野や海外販売の増加が影響
営業利益	▲125 百万円 ↘	原価低減に努めるも原材料価格の高騰が影響
経常利益	▲110 百万円 ↘	営業外収益が増加するも営業利益の減少が影響
親会社株主に帰属する 四半期純利益	▲77 百万円 ↘	-

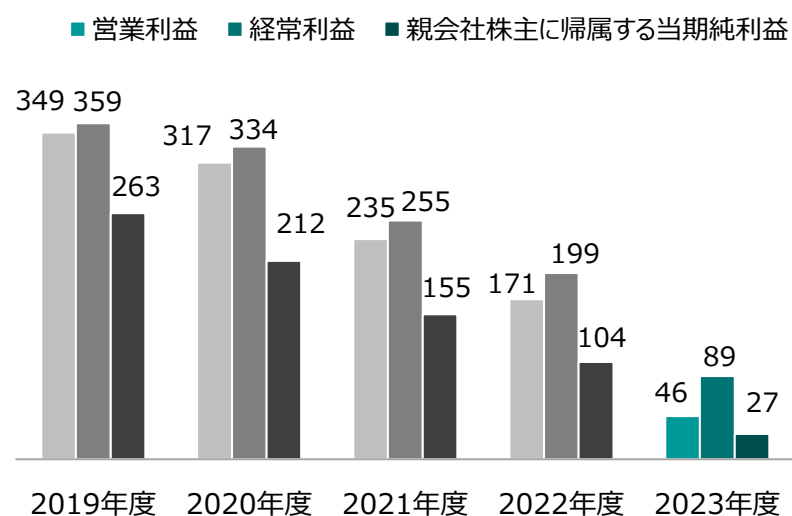
【売上高】

(百万円)



【利益】

(百万円)

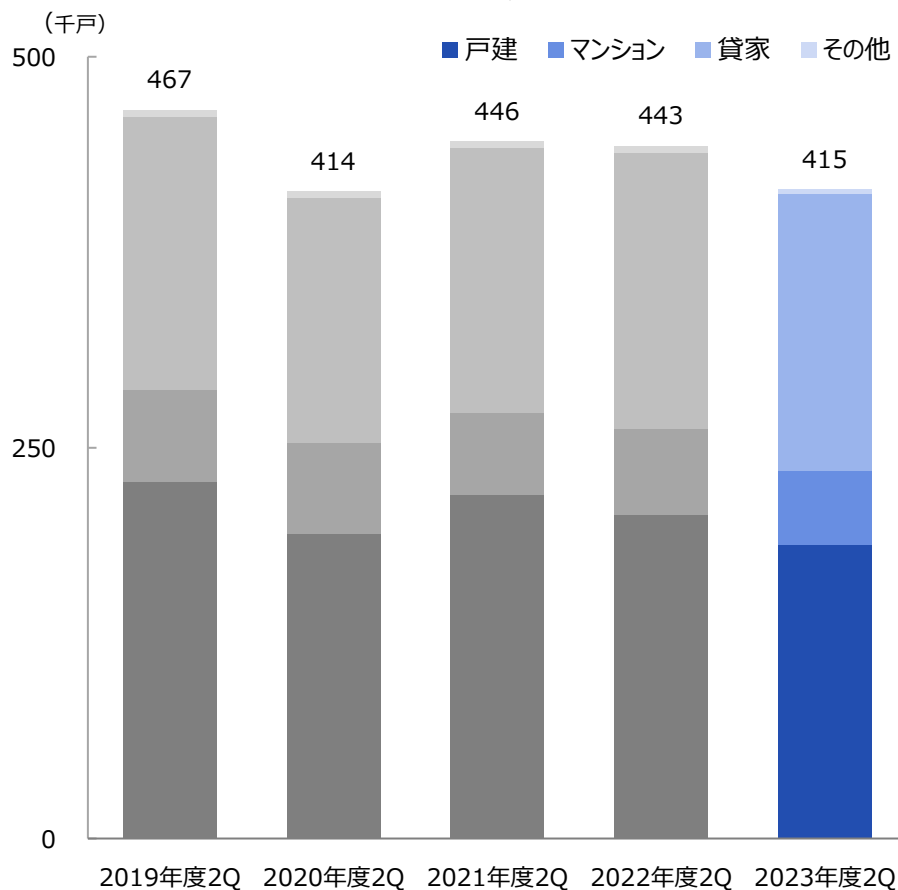


室内装飾関連事業の状況

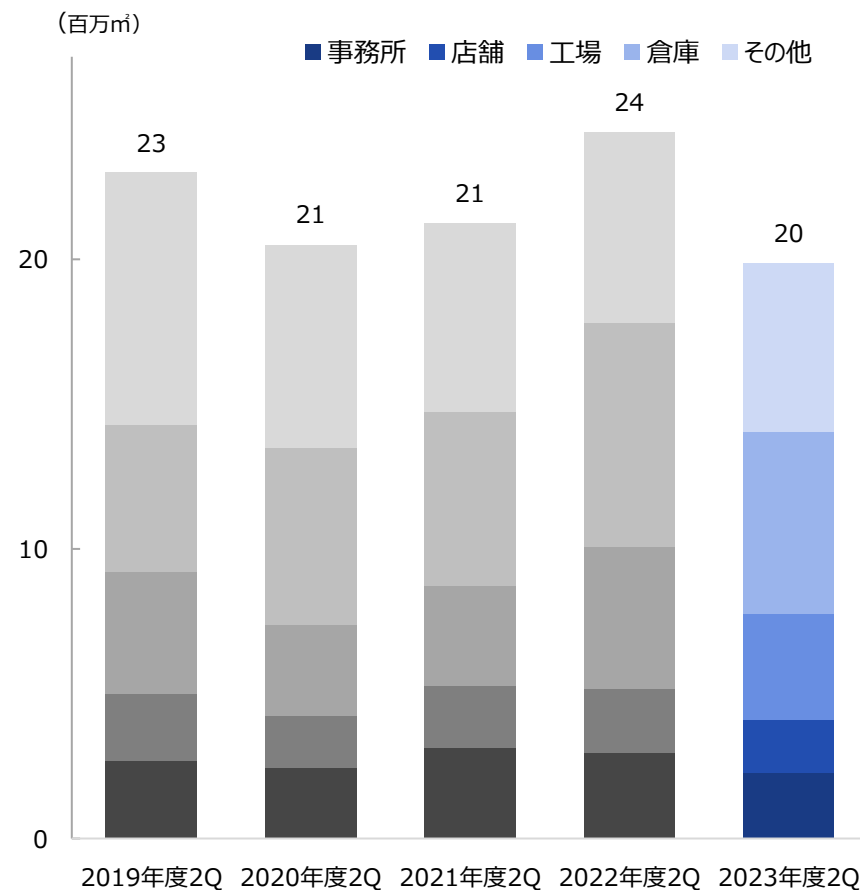
外部環境

住宅・非住宅ともに前年割れ

新設住宅着工戸数の推移



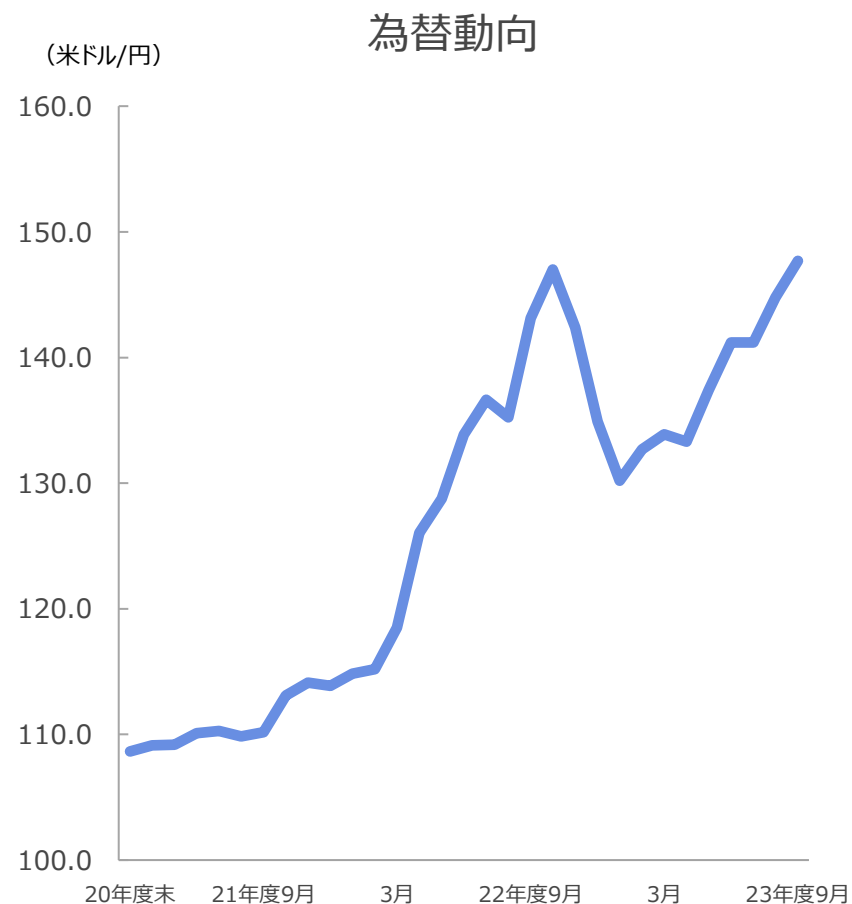
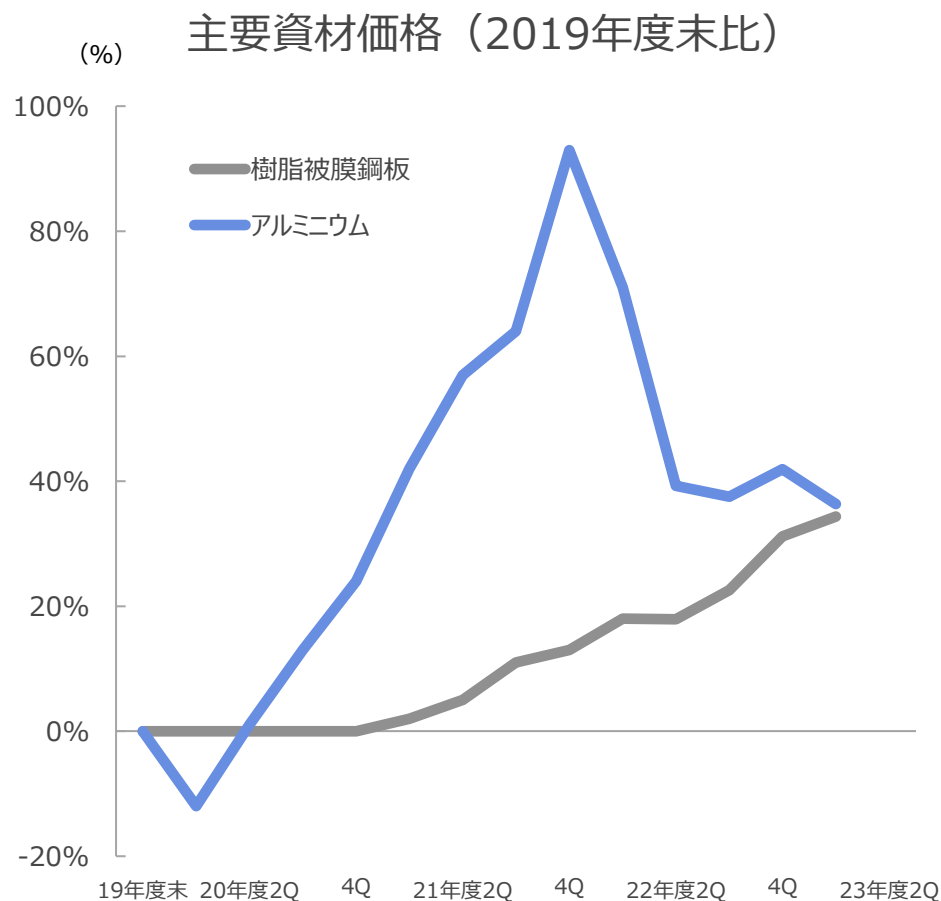
非住宅建築着工床面積



室内装飾関連事業の状況

外部環境

原材料価格の高騰や為替動向が影響



室内装飾関連事業の状況

取組内容



コルトシリーズ



ブラックカラー



ハンギングバー

新製品発売



レガートユニ (ウェーブ)

室内装飾関連事業の状況

取組内容

新製品展示会をハイブリッド開催

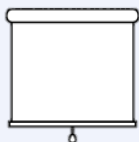
窓辺の NEW WAVE

WINDOW
FASHION
FAIR
2023

トーソー新製品展示会



室内装飾関連事業の状況



概況

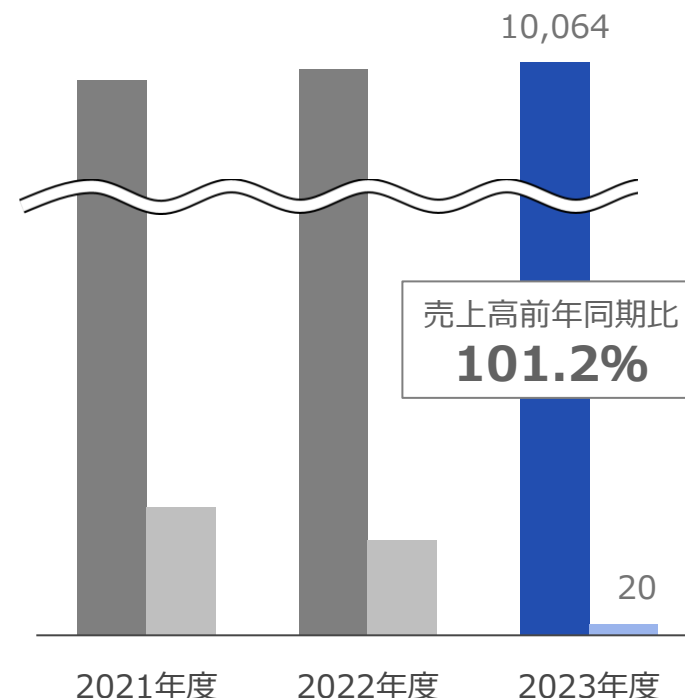
外部環境

- 新設住宅着工戸数・非住宅建設着工床面積ともに減少
- 世界的な原材料価格の高騰や為替動向の影響あり

内部取組

- カーテンレール価格改定の寄
- カーテンレール・ブラインド類の新製品発売
- リアル・オンライン併用型の新製品展示会

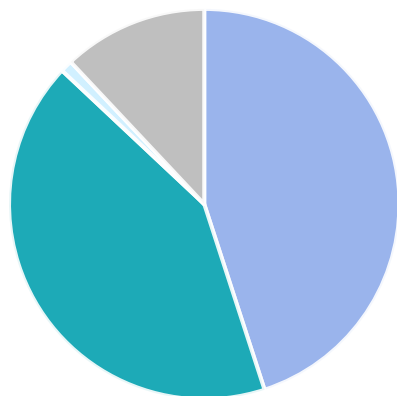
■ 売上高 ■ セグメント利益 (単位：百万円)



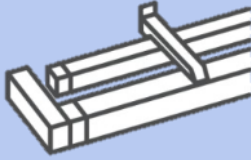



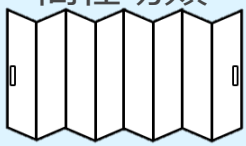


**住宅分野が伸び悩むも非住宅や海外販売増加により増収
売上原価や営業活動費用の増加により減益**

室内装飾関連事業の状況

商品群別の状況



- カーテンレール類 **45%**
- ブラインド類 **42%**
- 間仕切類 **1%**
- その他 **12%**

	概要	販売状況
<p>カーテンレール類</p> 	<p>住宅市場の低迷の影響はあるものの、非住宅物件の獲得や価格改定が寄与</p>	
<p>ブラインド類</p> 	<p>非住宅分野の寄与はあるが、住宅市場の低迷が影響</p>	
<p>間仕切類</p> 	<p>近時は間仕切り需要が伸び悩み、市場全体は減少傾向</p>	
<p>その他</p>	<p>非住宅物件の獲得により施工費等が増加</p>	

その他の事業の状況

取組内容

総合福祉展やグループ展示会への出展



国際福祉機器展H.C.R 2023

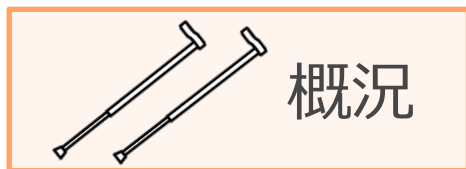


リハビリ兼用杖「リハステッキ」をご紹介します



このステッキはプライダルファッションデザイナーで有名な桂由美さんのデザインで

その他の事業の状況

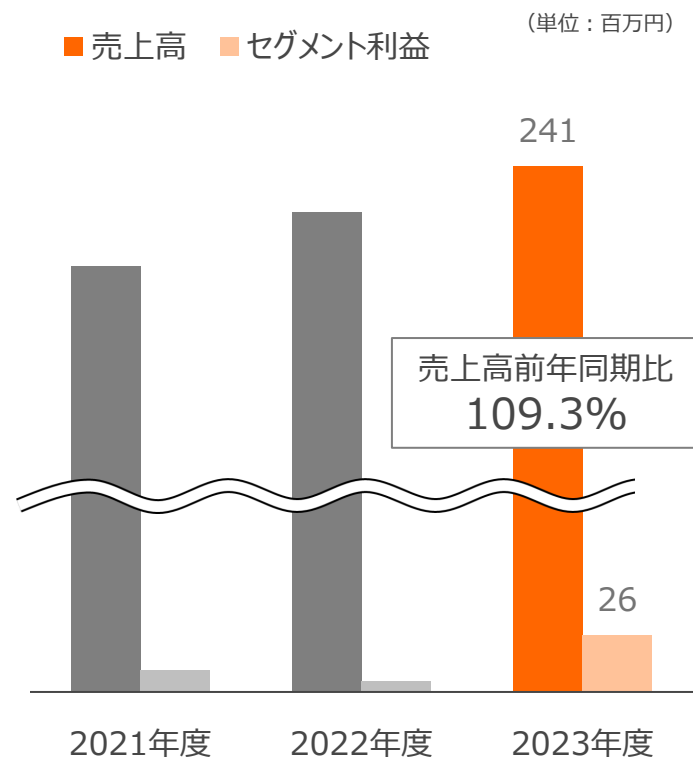


外部環境

- 行動制限の緩和や経済・消費の持ち直しが寄与
- 資源・エネルギー価格の高騰や円安の影響を大きく受けた

内部取組

- 新エリア開拓や既存販売店との取り組み強化
- 国際福祉機器展（H.C.R）へ出展
- 昨年度末に価格改定を実施



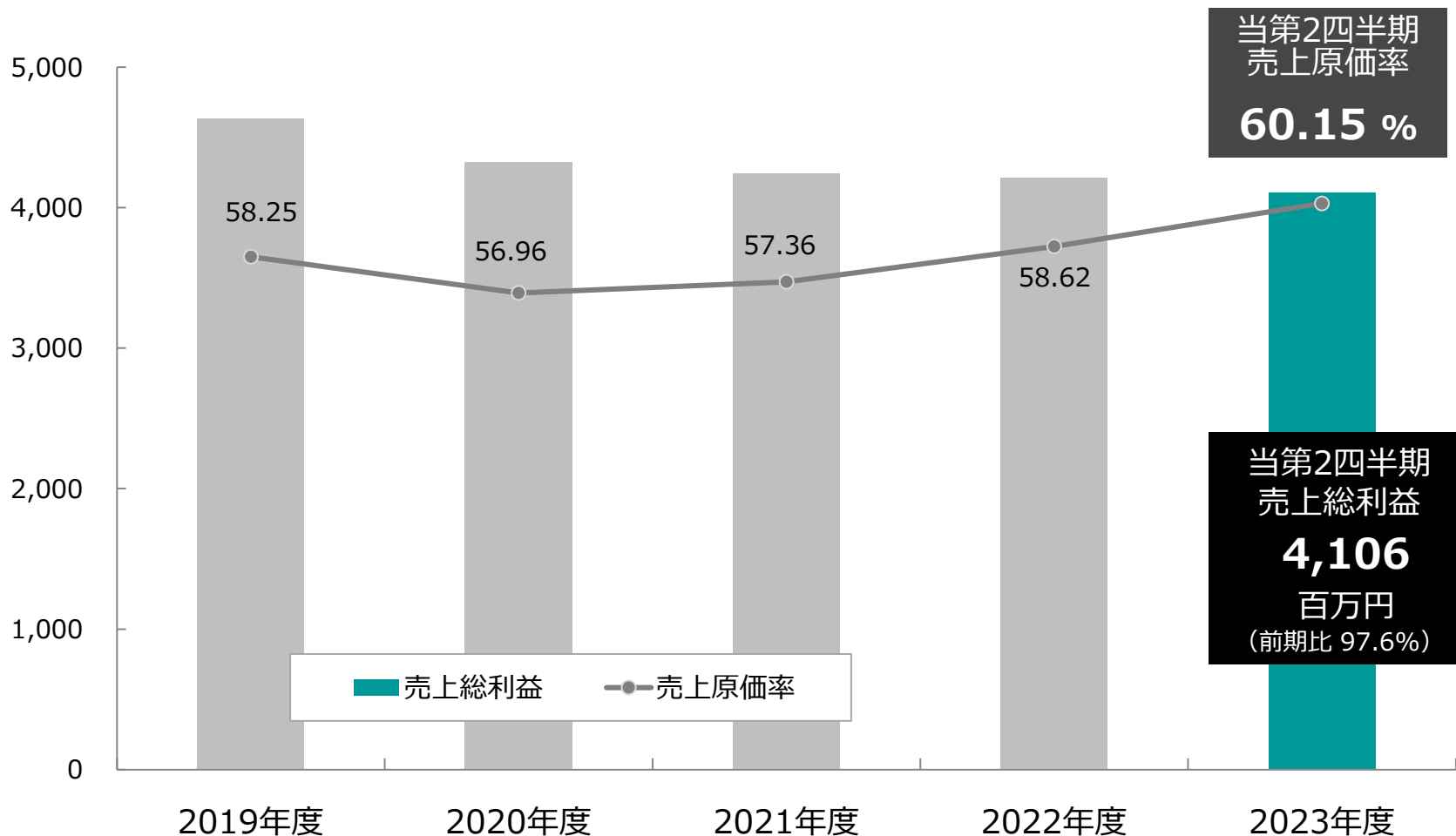
資材価格高騰影響も、販促強化や価格改定により、増収増益

売上総利益・売上原価率の推移

原材料価格の高騰や為替動向が影響

(売上総利益：百万円)

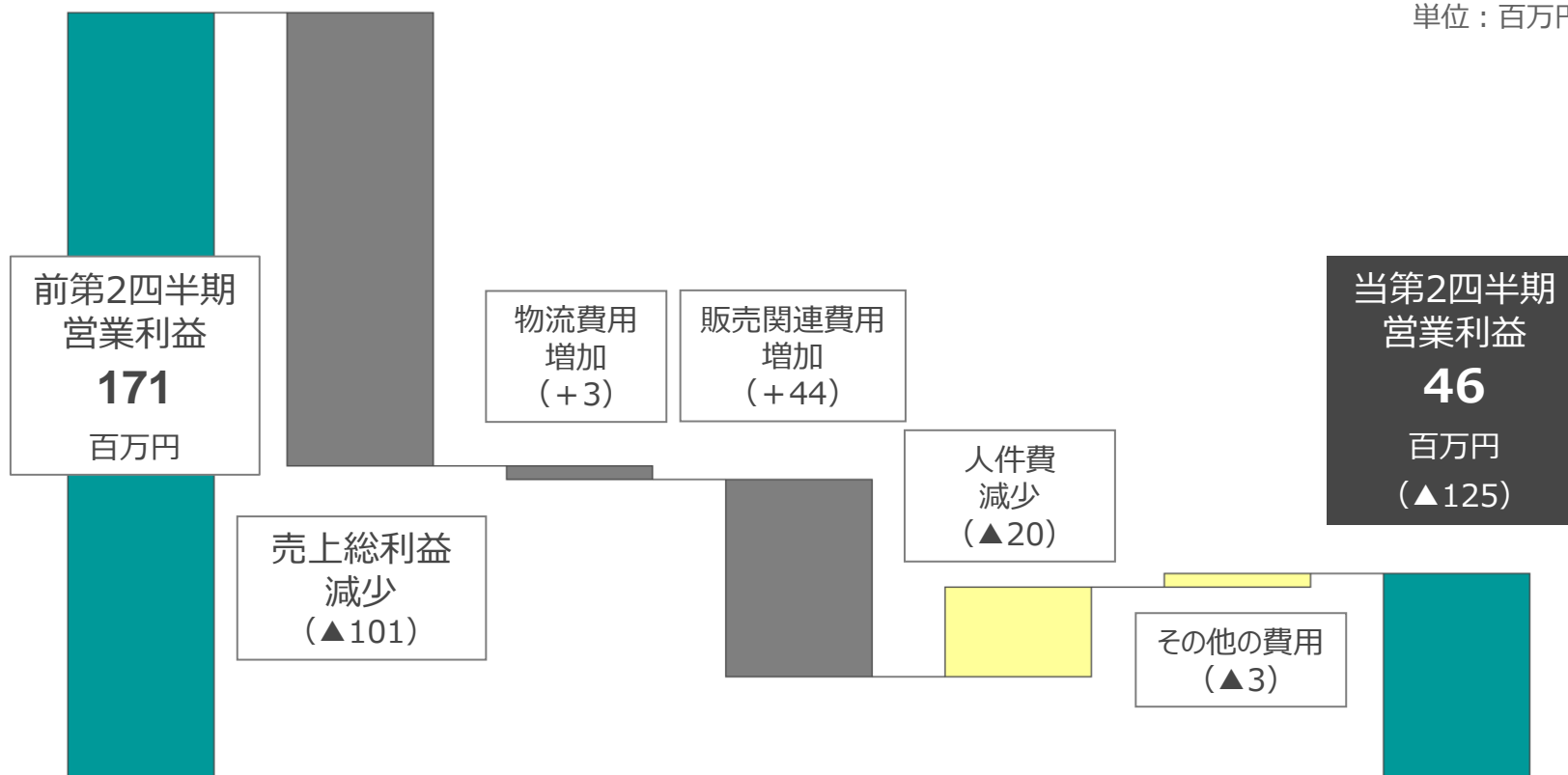
(売上原価率：%)



固定費・営業利益

売上総利益の減少や、新製品発売等による営業活動費用の増加により、営業利益は減少

単位：百万円



※ () 内は前期との増減金額

貸借対照表・キャッシュフロー計算書

【貸借対照表】

単位：百万円

《主な変動要因》	総資産 20,898 百万円 (+428)		《主な変動要因》
流動資産 ・売掛債権 (▲434) ・棚卸資産 (+333) ・その他 (+220) など 固定資産 ・有形固定資産 (+180) ・無形固定資産 (+0) ・投資その他の資産 (+109) など	流動資産 15,552 (+137)	負債 6,884 (+27) 有利子負債 1,264 (▲43)	負債の部 ・支払債務 (▲123) ・1年内返済予定の長期借入金 (▲40) ・繰延税金負債 (+104) など 純資産の部 ・その他有価証券評価差額金 (+127) ・繰延ヘッジ損益 (+170) など
	固定資産 5,346 (+291)	純資産 14,014 (+401)	

※ () 内は前期末比増減

【キャッシュフロー計算書】

	前期	当期	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	577 百万円	316 百万円	▲260 百万円
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲367 百万円	▲242 百万円	+125 百万円
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲394 百万円	▲125 百万円	+269 百万円

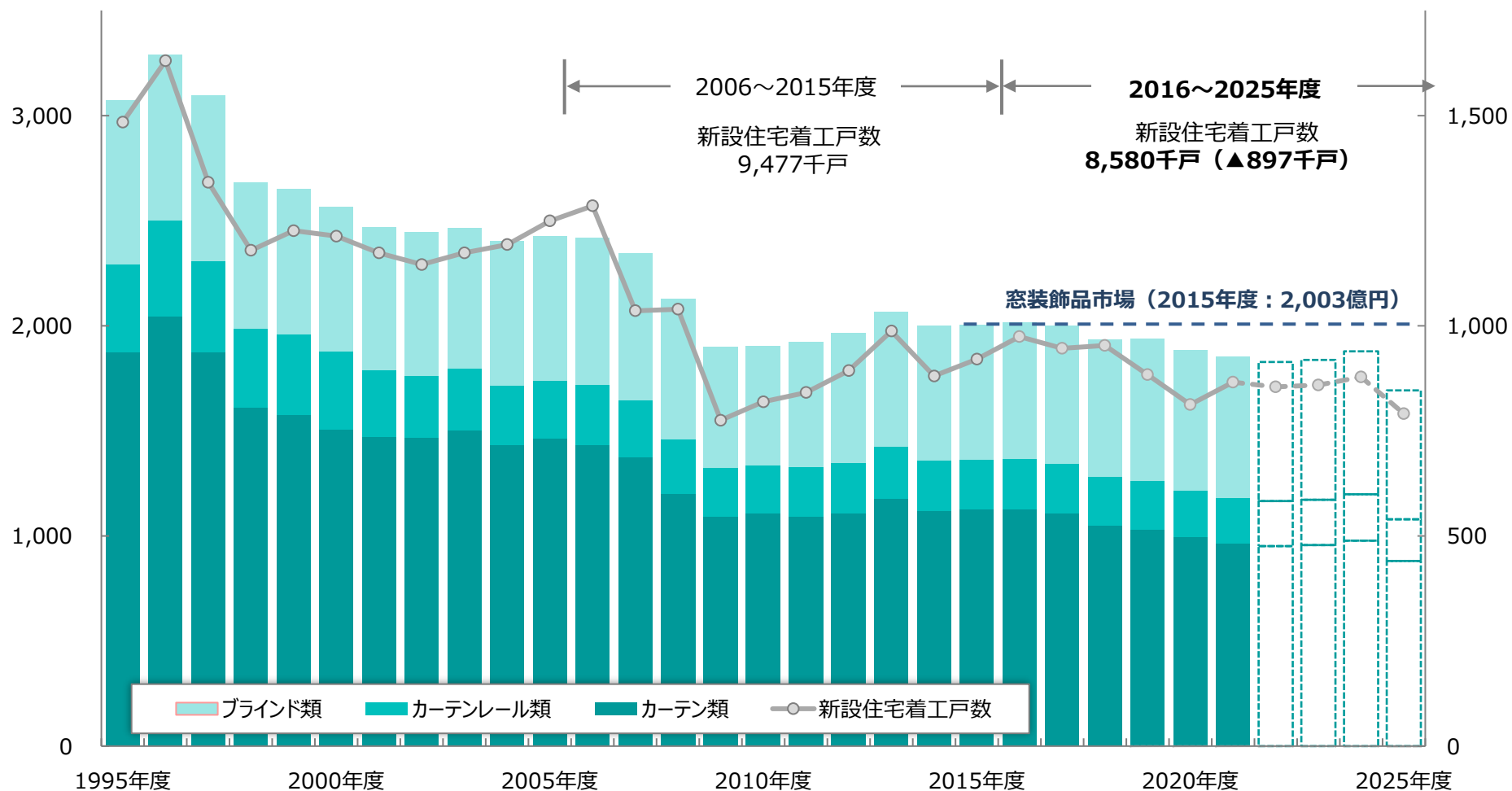
3. 今後の活動について

新設住宅着工戸数と窓装飾市場予測

新設住宅着工の減少に伴い、窓装飾市場も縮小傾向

(金額：億円)

(戸数：千戸)



※最新の民間シンクタンク発表「日本経済中期見通し」、「日本インテリア協会資料（卸売ベース）」より当社推定

経営ビジョン「Vision2025」

2016年度より10年間の経営ビジョン「Vision2025」を始動



「Vision2025」第2フェーズ中期経営計画

コアビジネス

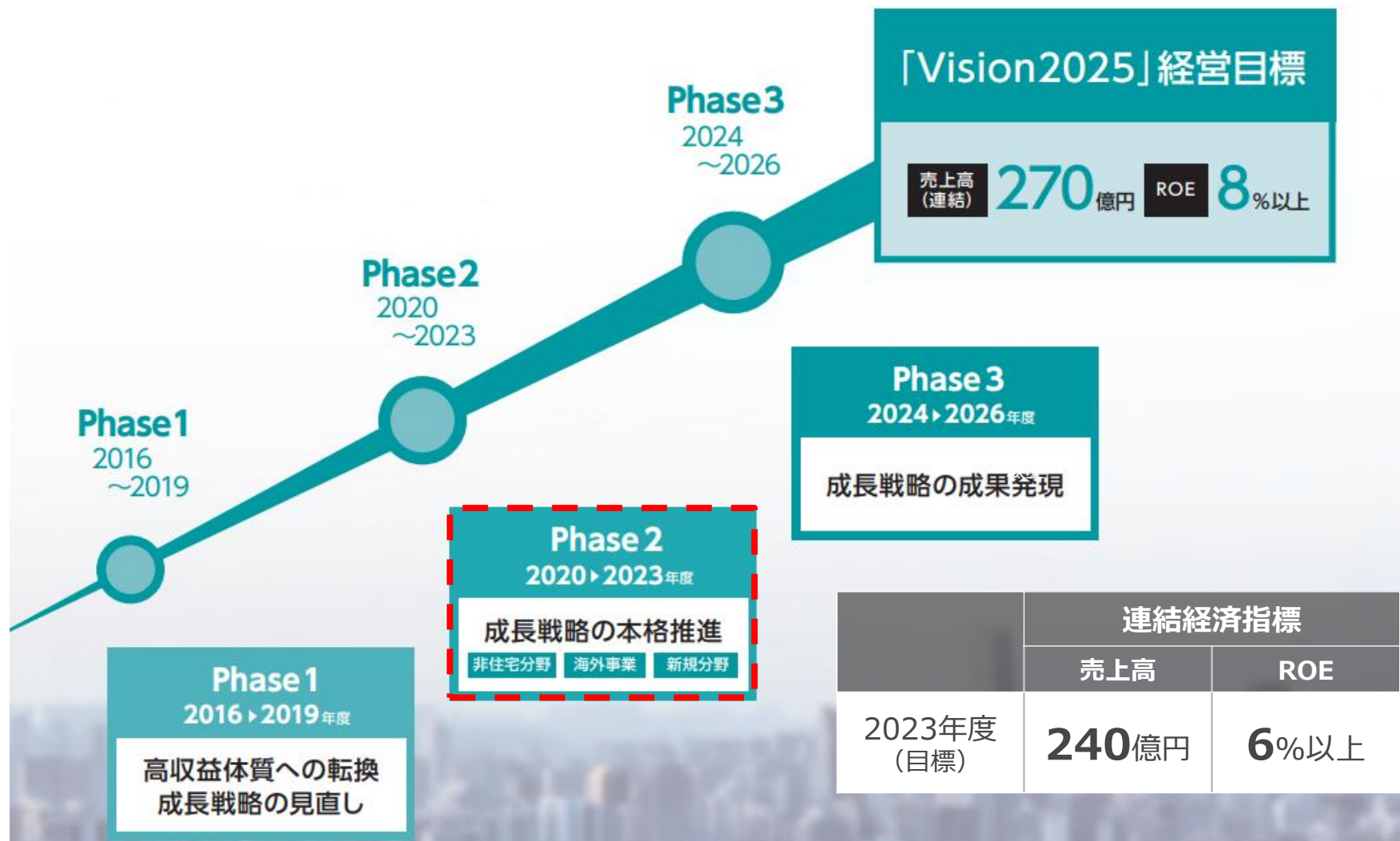
成長戦略



経営基盤の再整備

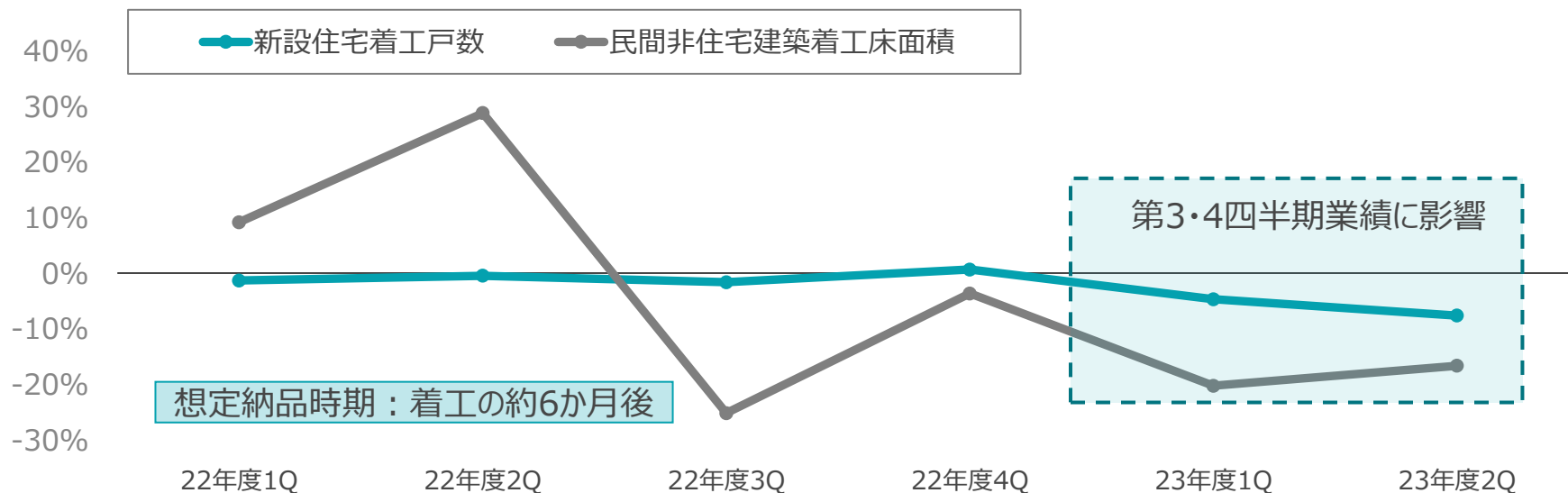
経営ビジョン「Vision2025」

2016年度より10年間の経営ビジョン「Vision2025」を始動



通期業績見通し

住宅および非住宅の着工推移（前年同期比）



市場環境	<ul style="list-style-type: none"> 新設住宅着工戸数・非住宅建築着工床面積ともに前年割れにて推移し、住宅市場・非住宅市場ともに厳しい状況が続く見通し 引き続き不安定な国際情勢の懸念等により先行きは不透明
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> JAPANTEXやwith Curtainsといったイベント等による上期に発売した新製品の拡販 一層の原価低減推進および費用低減等の経営体質の強化に向けた取り組み推進 コア領域（住宅分野）の深耕と成長領域（非住宅分野、海外事業、新規分野）への取り組み強化

通期業績見通し

【2024年3月期（2023年度）通期業績予想】

	2022年度 第2Q実績	2023年度 第2Q		2022年度 通期実績	2023年度	
		実績	前年同期比		通期見通し	前期比
売上高	10,169	10,305	101.3%	21,298	21,800	102.3%
原価率	58.62%	60.15%	(※1) 102.6%	59.43%	継続的な 原価低減活動を推進	
販管費	4,036	4,060	100.6%	7,920	効率・採算性を 重視した費用執行	
営業利益	171	46	26.9%	719	550	75.7%
経常利益	199	89	44.7%	752	580	77.1%
親会社株主に 帰属する当期 純利益	104	27	26.1%	367	350	95.4%

(※)原価率の前期比は、「2023年度原価率」÷「2022年度原価率」にて算出

TOSO トーソー株式会社

(東証スタンダード市場 証券コード : 5956)

当資料に関するお問い合わせ先 : トーソー株式会社 経営企画室

TEL : 03-3552-5877 FAX : 03-3552-1009 E-mail : ir@toso.co.jp